

わっぱ塾 「デンマークの教育を考える」

## 「生のための学校—デンマークの民衆学校の教育に学ぶ」

日本の学校教育は、小学校の1年生から子ども達は通知表で評価され、小さいうちからの塾通いは普通に行われています。また、ゆとり教育が批判され、スマップが「ナンバーワンでなくオンリーワン」と歌っても、親たちは心ひそかに「やっぱりナンバーワン」と願ってしまうのではないのでしょうか？

デンマークの小学校には、成績の優劣をつける通知表はありません。クラスの人数も20人以下で、先生もクラスも1年から6年までずっと同じです。公立も私立も授業料は大学まで無料で、親は自由に学校を選べますし、比較的自由に学校を作ることができます。また、デンマークではサラリーマンになるのに大学まで進学する人はほとんどいません。それほど専門的な知識を必要としないからです。しかし、サラリーマンになってからでも、その後、医者になりたい、弁護士になりたいとなれば、本人がその気になればいつでもやり直しがききます。

日本とデンマークでは、教育のあり方・教育制度・親の意識がまったく違います。最近ではフィンランドの教育が話題になったりしていますが「共に生きる社会の教育とは？」を考える上で、デンマークの教育制度をひとつのモデルとして一緒に考えてみませんか？

**講 演** 清水 満 (日本グルントヴィ協会幹事)

【日 時】 2010年 4月3日(土) 午後1時30分～5時00分

【場 所】 なごや職業開拓校 名古屋市西区則武新町2丁目24-14  
(地下鉄東山線 亀島駅下車 徒歩8分・電話 052-582-6006)

【費 用】 茶菓代 500円

### <日本グルントヴィ協会とは>

デンマークに150年前にうまれて、北欧で盛んなフォルケホイスコーレ(民衆のための高等教育学校)運動に学び、連帯しながら、日本でフォルケホイスコーレ運動を進めていこうと言う、市民主体の教育社会運動を展開する個人のネットワーク団体。

### <清水 満 さんプロフィール>

日本グルントヴィ協会幹事。日本各地でホイスコーレ型のセミナーなどを行い、デンマークの民衆教育運動であるグルントヴィムーブメント諸団体と交流。著訳書に「生のための学校」「共感する心、表現する身体」「コルの『子どもの学校論』」(いずれも新評論)

### 【主 催】

NPO 法人 わっぱの会 (連絡先) 090-6071-3062 (坪内)